

# 海からめぐる、魅力いっぱいの台湾へ

文=クルーズ編集部



先住民族の文化にふれる

●花蓮

台湾東部の花蓮周辺は、海岸線近くまで険しい山並みが迫る。郊外の太魯閣国立公園で大自然の迫力を堪能したい。先住民族・アミ族の文化を知る阿美文化村も興味深い。



ゆったり南国時間が流れる

●高雄

台湾第二の都市。かつてバナナの積み出し港として栄えた歴史があり、フルーツがおいしい南国の町。港周辺には、かつての倉庫街を利用した現代アートの展示も。夜市もぜひ。



台湾のカルチャー・シティー

●台中

年間を通じて温暖な気候で過ごしやすい台湾第三の都市。大学が多く、美術館など文化・芸術関連の施設が多い。茶芸文化発祥の地。郊外には台湾最大の湖・日月潭も。



台北への玄関口

●基隆

車で約30分で台北へ、約1時間で九份(写真上)にアクセスできる台湾最大の港。台北には中国歴代皇帝の至宝を収蔵する故宮博物院や歴史ある寺院のほか、ショッピングやグルメスポットも充実。



台南グルメに注目

●安平(台南)

今後、寄港地として注目を集めそうなのが、台南の安平港。9万トンまで対応可能。のんびりした雰囲気でも街歩きも。軽食「えび巻」やデザート「豆花」など、台南グルメも楽しみ。



台湾のビーチリゾート

●澎湖島

台湾海峡に浮かぶ澎湖島は台湾のビーチリゾート。歴史ある街並みや家の造りに、どこか懐かしさを感じる。海上に浮かぶ柱状玄武岩(写真)は迫力満点。

台湾港務股份有限公司  
(Taiwan International Ports Corporation, Ltd.)  
<http://www.twport.com.tw/en/Default.aspx>

近年、海外旅行先として人気急上昇中の台湾。歴史や伝統を感じるスポットがある一方で、モダンで洗練されたエリアも多く、見どころは多彩だ。特にバラエティー豊かな食文化は日本にもファンが多い。最近では日本発着クルーズの寄港地としても人気を集めている。

台湾で最大の港が基隆港。大都市・台北の海の玄関口であり、多くの客船が寄港する。基隆から足を延ばせば、ショッピングやグルメスポットが充実する台北のほか、ノスタルジックな街

並みが楽しめる九份へも近い。台湾第二の都市でありながら、のんびりした雰囲気が漂う高雄もぜひ訪れたい。台湾最大級の道教寺院や、湖の周りに廟や塔が立ち並ぶ蓮池潭など、歴史ある寺院が多い。約170軒の屋台が連なる六合夜市では、数百年で台湾グルメを堪能できる。

陸路では移動しにくい東部の花蓮もクルーズなら訪れやすい。大理石が浸食されてできた太魯閣峽谷や、先住民族・アミ族の文化にふれる阿美文化村など、台湾ならではの自然と文化に出会えるだろう。日本統治時代の歴史を感じるスポットも多い。

台湾第三の都市・台中は文化的都市として知られ、茶芸館ブームを生んだカフェ&喫茶文化発祥の地でもある。

近年、客船が寄港するようになった澎湖島は、知る人ぞ知るリゾート。白砂のビーチや海上にそそり立つ柱状玄武岩など、独特の大自然を満喫できる。

17世紀、台湾付近を航海していたポルトガル人が、美しい島の影を見て「フォルモサー」(麗しの島)とさげんだ逸話が残る。海から台湾を訪れ、その多彩な魅力にふれてみたい。